



*海老名教会に繋がっている方々へ 共にお祈りを合わせましょう！

5月27日(水) 創世記2章18~25節 讚美歌21-533

主なる神は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」
(創世記2:18)

神様は、アダムが一人であるのを良くないと思われました。そして、助けるものをお造りになりました。私たち人間は一人で生きる者ではないのです。しかし他の被造物は人間にとって助けるものにはならない、それを先に配慮してくださった方は神様です。アダムを深い眠りに落とされ、眠り込んでいるアダムのあばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれ、女を造り上げられました。このおどき話のようなどころには、深い意味があります。男の体から女の人造られた、ということは夫婦の一体性を物語っています。頭でもなく、足でもなく、あばらの骨というのは、体の中心で、心臓に近い。それはお互いに同等な、そして、かけがえがない連帯性を示しているようです。

「こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる。人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった。」信頼と愛に満ちた関係です。神様が造ってくださった、本来の夫婦関係が、私たちの罪によって壊されていくことはとても悲しいことです。しかし、主イエス・キリストによって、夫婦関係だけではなく、共に生きる者として、私たちの世界に回復の希望が与えられているのは、まさに恵みです。

<祈りの課題>

1. 世界の人々がコロナ・ウィルスという試練の中でへりくだった心をもって、真の神を知ることができますよう祈りましょう。
2. 早く正常的な生活ができ、共に礼拝を守ることができますように。その日まで、キリスト者一人一人の信仰がより強められますよう祈りましょう。
3. 国を導く政治家や指導者たちが、神を畏れ、人々を愛して知恵と力を出していくことができますよう祈りましょう。
4. コロナ・ウィルスの脅威の中でも人間らしさと、お互いの絆を失うことがないように祈りましょう。
5. 医学的に良い結果が出ますように、研究に励んでいる人々のために祈りましょう。そして、コロナ・ウィルスの患者のために治療を行い、看病や世話をする人とその家族のために祈りましょう。
6. 今、病に苦しんでいる人々、また、不安と孤独の中にいる人々、経済的に苦しみを覚えている人々のために祈りましょう。
7. 子どもや高齢者、障害を持っている人々が、社会の苦しい状況の中でも守られますよう祈りましょう。
8. 海老名教会に繋がっている一人一人が守られますように。一緒に礼拝を守るその日まで、心を合わせて祈り続けることができますよう励まし合い、祈りましょう。

